

TOKYO GAME SHOW 2012

GAME で笑顔が繋がっていく。

〈報道関係各位〉

2012年8月3日

**東京ゲームショー 2012、ビジネスデイ企画第1弾！
「TGSフォーラム 2012」開催概要決定！
「日本ゲーム産業に今、必要なコト ～ゲームビジネス新時代の展望(仮)」
と題してCESA 鶴之澤伸会長が基調講演**

一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会
日 経 B P 社

一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会(略称:CESA、会長:鶴之澤 伸、所在地:東京都港区西新橋)が主催し、日経 BP 社(社長:長田 公平、所在地:東京都港区白金)の共催で開催する「東京ゲームショー 2012」[会期:2012年9月20日(木)～23日(日)、会場:幕張メッセ(千葉県美浜区)]では、ビジネスデイの9月20日(木)・21日(金)の両日、「TGS フォーラム 2012」と「アジア・ゲーム・ビジネス・サミット 2012」を開催します。

「TGS フォーラム 2012」および「アジア・ゲーム・ビジネス・サミット 2012」は、ゲーム業界関係者を対象に国内外のゲーム業界の現状や将来像について話し合うカンファレンスです。「TGS フォーラム 2012」は、ビジネスデイ初日9月20日(木)の基調講演に加えて、ビジネスデイ2日目21日(金)の午後に4種類の専門セッションを実施します。

ゲームを取り巻く環境は近年、大きな変化を続けており、さまざまなプラットフォームを駆使し、いつでもどこでもゲームを楽しめるようになってきました。こうした状況を鑑み、9月20日(木)10時30分からスタートする基調講演には、CESA の鶴之澤伸会長(バンダイナムコゲームス副社長)が登壇し、「日本ゲーム産業に今、必要なコト ～ゲームビジネス新時代の展望(仮)」というタイトルで講演を行います。

一方、ビジネスデイ2日目(9月21日[金])に実施するTGS フォーラム 2012の専門セッションでは、「ソーシャルゲームセッション」、「クラウドゲームセッション」、「ゲームビジネスセッション」、「ゲーミフィケーションセッション」の4つのセッションを設置し、それぞれゲーム産業における最新トレンドを解説します。

また、一昨年から新たに設けて、好評を博している「アジア・ゲーム・ビジネス・サミット 2012」は、本年もビジネスデイ初日、9月20日(木)の午後に開催します。日本だけではなく、韓国、中国、インドネシアの主要なゲーム会社の経営トップや代表者が集まり、スマートフォンやタブレットなどのハード、ソーシャル・ネットワーク・サービスなど、新しいプラットフォームの出現で激動期を迎えたアジア圏のゲームビジネスの課題と、可能性について、パネルディスカッション形式で話し合います。

東京ゲームショー事務局では、「TGS フォーラム 2012」および「アジア・ゲーム・ビジネス・サミット 2012」の受講事前申込受付を8月8日(水)から、公式ホームページ(<http://tgs.cesa.or.jp/forum/>)で開始します。「TGS フォーラム 2012 基調講演」と「アジア・ゲーム・ビジネス・サミット 2012」の聴講は無料です。「TGS フォーラム 2012 専門セッション」は有料で、前売りが1セッション8,000円(税込)。当日売りは、1セッション10,000円(税込)です。

「TGS フォーラム 2012」のプログラム詳細については、次項をご参照ください。

● TGSフォーラム 2012

東京ゲームショウ事務局では、「TGS フォーラム 2012」の受講事前申し込み受付を、8月8日(水)から公式ホームページ(<http://tgs.cesa.or.jp/forum/>)で開始します。基調講演は無料。有料の専門セッションは、前売りで1セッション 8,000円(税込)、当日売りは1セッション 10,000円(税込)です。それぞれ、先着順に受け付け、定員となり次第締め切ります。事前申し込みで定員に達した場合は、当日受講申し込みは基本的には受け付けませんので、あらかじめご了承ください。なお、専門セッション受講の方には、「東京ゲームショウ 2012」の展示会場に入場できるビジネスデイ事前登録申込券をご提供します。
※ビジネスデイ事前登録申込券は、ゲーム業界関係者のみご利用いただけます。

【開催日時】 2012年9月20日(木)・21日(金) ビジネスデイ

- 基調講演： 9月20日(木) 10:30～11:30(予定)
※基調講演会場は幕張メッセ ホール8内 イベントステージ
- 専門セッション： 9月21日(金) 13:00～17:15(予定)
※専門セッションの会場は幕張メッセ 国際会議場内会議室

【会 場】 幕張メッセ(千葉県千葉市美浜区)・ホール8/国際会議場

【受講料】 ■基調講演・・・無料

- 専門セッション・・・1セッション受講 前売り 8,000円(税込) / 当日 10,000円(税込)
(特典)「東京ゲームショウ 2012」ビジネスデイ事前登録申込券をご提供します。
※ビジネスデイ事前登録申込券は、ゲーム業界関係者のみご利用いただけます。
※TGS2012 出展社の方々向けに、特別価格で提供する出展社割引を用意いたします。
詳細は、後日、CESA や東京ゲームショウ事務局が配信するご案内を参照ください。

【受講申込】 公式ホームページ <http://tgs.cesa.or.jp/forum/> で、8月8日(水)から受付予定

【締 切】 先着順に受け付け、定員となり次第締め切ります。

※事前申し込みで定員に達した場合は、当日受講申し込みは基本的には受け付けません。

(報道関係の方の TGS フォーラム 2012 専門セッションのご取材および撮影、受講について)

・報道関係の方で有料専門セッションの受講をご希望される場合は、特別料金でご案内させていただきます。詳しくは事務局広報担当までお問い合わせください。なお、席に限りがございます。確実に受講することを望まれる場合は、公式ホームページ <http://tgs.cesa.or.jp/forum/> から一般受講にて、お申し込みください。

・取材目的による撮影のみをご希望される場合は、各セッション開始後 10 分間までとさせていただきます。開始後 10 分以降も撮影を続けられる場合は、受講料(特別料金)をお支払いいただきますので、ご了承ください。

TGSフォーラム 2012 プログラム

■9月20日(木)

基調講演 無料 事前登録制 幕張メッセ ホール8 「イベントステージ」	
10:30~ 11:30	<p>テーマ「日本ゲーム産業に今、必要なコト ～ゲームビジネス新時代の展望(仮)」</p> <p>ゲームのプラットフォームは拡大の一途を辿っており、顧客層の拡大に伴って、コンテンツ、サービス、ビジネスモデル、すべてが変質を余儀なくされている。この流れは、将来、混沌に拡散していくのか、それとも秩序に収斂していくのか。一見不連続に見える変化には、実は底流に大きな法則がある。我々が、今後何を指すべきかを考察する際のヒントを探ってみたい。</p> <p>一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会 会長 鶴之澤 伸</p>

※講演内容、登壇者は予告なく変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■9月21日(金)

専門セッション 有料(前売8,000円/当日10,000円) 事前登録制 幕張メッセ 国際会議場会議室			
13:00~15:00	<p><ソーシャルゲームセッション></p> <p>(テーマ) ソーシャルゲーム第2幕 ～新時代の展望～(仮)</p> <p>さまざまな試練に直面したソーシャルゲーム市場。自主規制を皮切りにさまざまな施策を打ち出し、次のステップに向けて進み出している。ソーシャルゲームはこれから先、どのような発展をしていくのだろうか。ソーシャルゲームを開発している主要なSAP(ソーシャル・アプリケーション・プロバイダ)の代表が、これまで進んできた道のりをふまえ、この先にどのような世界を思い描いているのか、そのビジョンと戦略について語る。</p> <p>(登壇者) ●gloops 代表取締役社長 川方 慎介氏 ●gumi 代表取締役社長 國光 宏尚氏 ●エイチーム 代表取締役社長 林 高生氏</p> <p>(モデレータ) 日経BP社 日経エンタテインメント! 編集長 吉岡 広統</p>	<p><クラウドゲームセッション></p> <p>(テーマ) クラウドゲームが切り開く 新しいゲームビジネス(仮)</p> <p>家庭用ゲーム専用機、PCやスマートフォン、タブレットなどプラットフォームが多彩に広がっているゲーム業界。その中でも新しい潮流として注目を集めるのがクラウドゲームだ。いったいクラウドゲームとはどのようなサービスなのか、どのような新しい世界を確立しようとしているのか、といった切り口で、クラウドゲームの基礎から応用までを、サービス提供会社と専門家が明らかにする。</p> <p>(登壇者) ●データホテル 代表取締役社長 嶋田 健作氏 ●ユビタス ビジネス・デベロップメント ディレクター 春日 伸弥氏 ●IGDA(国際ゲーム開発者協会)日本 代表 小野 憲史氏</p> <p>(モデレータ) 日経BP社 Tech-On! 編集長 内田 泰</p>	
	15:15~17:15	<p><ゲームビジネスセッション></p> <p>(テーマ) 新しいゲームのカタチとは? ネットワーク時代のゲームビジネス新事情(仮)</p> <p>ネットワークの発達により、家庭用ゲーム機やPC、スマートフォン、タブレットなどにデジタル配信するゲームが増えてきた。それとともに、売り切り(パッケージ販売)型のゲームから、従量課金やアイテム課金、ストック型課金など、さまざまなビジネスモデルが開発されつつある。ゲームの内容と密接に関わる「次世代ゲームビジネス」とはどのようなモノなのか。その難題に取り組んでいる先進事例を軸に、その可能性について解説する。</p> <p>(登壇者) ●セガ 第三CS研究開発部 プロデュースセクション プロデューサー 酒井 智史氏 ●ガンホー・オンライン・エンターテイメント 執行役員/プロデューサー 山本 大介氏 ●ほか講師調整中</p> <p>(モデレータ) 日経BP社 日経ビジネス副編集長 瀬川 明秀</p>	<p><ゲーミフィケーションセッション></p> <p>(テーマ) ゲーミフィケーションが切り開く ゲームの新しい可能性(仮)</p> <p>最近、クローズアップされてきたキーワード「ゲーミフィケーション」。ゲームが持つさまざまな機能や要素を分解し、それを企業活動やマーケティング、製品開発などに生かそうという取り組みが進みつつある。そして、この概念を実現できる人材や企業へのニーズも高まっている。ゲームのどのような要素に着目して、どのように役立てられるのか、といった視点で、ゲーム業界関係者向けにゲーミフィケーションの基礎から応用、最新事例などを交えながら、その全貌を解説する。</p> <p>(登壇者) ●東京大学 大学院 情報学環 特任助教 藤本 徹氏 ●博報堂 エンゲージメントビジネスユニット テクノロジー推進部 マネジメントプランナー 佐藤 潤氏 ●ほか講師調整中</p> <p>(モデレータ) 日経BP社 日経レンディ副編集長 降旗 淳平</p>

※各セッションの講演内容、登壇者は予告なく変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●「アジア・ゲーム・ビジネス・サミット 2012」

「アジア・ゲーム・ビジネス・サミット 2012」では、日本をはじめ、中国、インドネシア、韓国といったアジア各国の主要なゲーム会社の経営トップが一堂に会し、アジア圏のゲームビジネスの将来像について話し合います。

【開催日時】 9月20日(木) 13:30～15:00

【会場】 幕張メッセ ホール8内 イベントステージ

【参加費】 無料(事前登録制)

※東京ゲームショウ公式ホームページから事前登録できます。満員の場合は受け付けできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【各国のサミット登壇者】

(中国) 人人(レンレン) 上級副総裁(SVP) 兼 レンレンゲームスジャパン 代表取締役社長
何 川(カ・セン)氏

(インドネシア) Agate Studio COO Shieny Aprilia 氏

(韓国) NHN ハンゲーム代表 本部長 イ・ウンサン氏

(日本) ディー・エヌ・エー 取締役 小林 賢治氏

「東京ゲームショウ 2012」開催概要

名称:東京ゲームショウ 2012(TOKYO GAME SHOW 2012)

主催:一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会(CESA)

共催:日経BP社

後援:経済産業省

会期:2012年9月20日(木) ビジネスデイ 10:00～17:00

9月21日(金) ビジネスデイ 10:00～17:00

9月22日(土) 一般公開日 10:00～17:00

9月23日(日) 一般公開日 10:00～17:00

※ビジネスデイはビジネス関係者およびプレス関係者のみのご入場となります。

※一般公開日は、状況により9:30に開場する場合があります。

会場:幕張メッセ(千葉県千葉市美浜区) 展示ホール1～8/国際会議場

来場者数:19万5000人(予定)

出展社数:171社(6月26日現在)

出展小間数:1592小間(6月26日現在)

入場料:一般・・・前売1,000円税込/当日1,200円税込

小学生以下・・・入場無料